Host City for

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

Education for Sustainable Development 2014
World Conference, Aichi-Nagoya, 10-12 November
Stakeholder Meetings, Okayama, 4-8 November

2014 年 6 月 11 日

「ESD 推進のための公民館-CLC 国際会議
～地域で学び、共につくる持続可能な社会～」　開催要項

2014 年に、「国連 ESD の 10 年」の最終年会合である「ESD に関するユネスコ世界会議」が日本で開催されます。その一環として、岡山市、公民館・CLC 会議実行委員会、文部科学省の主催により「ESD 推進のための公民館-CLC 国際会議」を開催します。

1　背景

気候変動や生物多様性の喪失、貧困や紛争など、現代における多様で複雑な諸問題を解決し、持続可能な社会を築いていくためには教育が重要であることが、1992 年の国連環境開発会議（リオサミット）で合意されました。その 10 年後に開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグサミット）で、持続可能な社会を実現するための教育を推進することが提案され、2005 年から始まったのが、「国連 ESD の 10 年」です。

岡山市では、「国連 ESD の 10 年」が始まって以来、市民、大学、行政等が連携して ESD に取り組んできました。特に、岡山市では公民館活動が盛んなことから、公民館が地域の ESD の推進拠点となっており、環境や国際理解など多様な切り口から地域の課題解決に取り組むなど、自然と共存し、互いに尊重しあい、共に生きることのできる持続可能な社会を目指して ESD を推進してきました。

一方、CLC(Community Learning Centre)[1]は、識字教育・職業訓練や住民主体の学習・地域づくり・ネットワークの拠点として、アジアを中心に展開されています。

2007 年に「公民館サミット in 岡山－地域づくりとESD推進－」[2]が開催され、「岡山宣言」が出されました。以来、アジアのCLCと岡山の公民館との学びあいが始まりました。そして、公民館とCLCが互いの経験を持ち寄り学びあうことで、共通点と相違点を知るとともに、持続可能な社会づくりに向けて、次のような共通認識を醸成してきました。

- 持続可能な社会の実現のためには、自発的な学びを通した地域づくりが不可欠です。
- 公民館・CLC は学びを通した地域づくりの場であり、多様な人々をつなぐ役割を担っています。
- ESD 推進においては、公民館・CLC は地域の拠点として大きな可能性を持っていますが、まだ十分に認識、活用されていません。
- 公民館・CLC に ESD の視点を取り入れることで、活動の意味や意義が見直され、再活性化されます。

2　目的

（1）ESD 推進における公民館と CLC の重要性を確認する。

（2）公民館と CLC における ESD の好事例を共有し、成果と課題を議論する。

（3）持続可能な社会づくりにおける公民館・CLC のビジョンを討議し、その実現に向けた方策を提言する。

---

1 アジア地域のユネスコが設置を推奨し、タイやインドネシア、ベトナムなどの諸国に設置が進んでいるコミュニティ・学習・センターで、日本の公民館に近い性格を持っています。

2 主催：岡山大学ユネスコチェア、岡山県国際団体協議会(COINN)、共催：ユネスコ・バンコク事務所やユネスコ・アジア文化センター（ACCU）等

3　期待される成果

（1）公民館と CLC の関係者が互いの現状と課題、共通点と相違点を理解するとともに、ESD における公民館・CLC の重要性と意義が共有される。

（2）公民館と CLC 間で国を超えたネットワークが構築される。

（3）公民館・CLC を通じた ESD の活性化と、公民館、CLC それぞれの活性化により、持続可能な社会づくりに貢献できる。

4　日時　　2014 年 10 月 9 日（木）～12 日（日）(12 日はエクスカーション)

5　会場　　岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町)、市内公民館（分科会）

6　主催等

主催：岡山市、公民館・CLC 会議実行委員会、文部科学省

共催：ユネスコ アジア・パシフィック教育事務局（ユネスコ・バンコク事務所)

ユネスコ生涯学習研究所（UIL）　　公益社団法人　全国公民館連合会

協力：国連大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS)

公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター（ACCU)

日本公民館学会　　日本社会教育学会

7　参加者　　公民館および CLC 関係者、ESD の実践者および関心のある人等。

8　内　容

10 月 9 日　全体会（開会行事、基調講演・パネルディスカッション)、歓迎レセプション

10 日　７分科会（市内 5 公民館、岡山コンベンションセンター)、全体会

11 日　全体会（成果文書の作成・採択)、サイドイベント、フェアウェル・パーティー

12 日　エクスカーション※1

詳細は別紙１「プログラム案」及び別紙２「基調講演者プロフィール」をご覧ください

※1　エクスカーションは、岡山県内、瀬戸内海等の近隣エリアで ESD 的な視察ができるコースを検討中です。詳細は改めてお知らせします。

9　言　語　　会議は、英－日の同時通訳で開催されます。

10　参加費　　会議は無料です。
ただし、日本国内の一般参加者は、10 月 9 日の歓迎レセプション、10 月 11 日のフェアウェル・パーティーについて、それぞれ参加費 3,000 円が必要です。

11　参加登録（申込）方法及び締切り

「ESD 推進のための公民館-CLC 国際会議」ホームページで 6 月中旬から受付を開始します

登録の締切は 7 月 31 日（木）です。

HP アドレス　　http://kominkan-clc.jp

12　問合せ

お問合せ等は「岡山市 ESD 世界会議推進局」へお願いします。

E-mail：esd@city.okayama.jp
住 所：〒700-8544 岡山市北区大供 1-1-1
電 話：086-803-1354
F A X：086-803-1777